

船橋市教育委員会会議9月定例会会議録

1. 日 時 平成26年9月29日(月)
開 会 午後2時00分
閉 会 午後3時22分
2. 場 所 教育委員室
3. 出席委員 委 員 長 山 本 雅 章
委員長職務代理者 石 坂 展 代
委 員 鎌 田 元 弘
委 員 篠 田 好 造
教 育 長 松 本 文 化
4. 出席職員 教育次長 松 田 重 人
管理部長 金 子 公一郎
学校教育部長 古 橋 章 光
生涯学習部長 瀬 上 きよ子
管理部参事兼教育総務課長 二 通 健 司
学校教育部参事兼指導課長 松 本 淳
生涯学習部参事兼社会教育課長 小 川 佳 之
生涯学習部参事兼青少年課長 鈴 木 隆
施設課長 小 川 良 平
学務課長 棚 田 康 夫
保健体育課長 向 笠 真 司
総合教育センター所長 赤 熊 一 英
文化課長 田久保 里 美
財務課長 廣 瀬 清 美
青少年センター所長 大 月 秀 夫
船橋市高等学校事務長 浅 野 昌 司
生涯スポーツ課長補佐 中 田 進 一
中央図書館長補佐 宮 平 範 行
5. 議 題
第1 前回会議録の承認
第2 議決事項

議案第52号 平成26年度船橋市教育功労表彰について

議案第53号 船橋市青少年センター運営協議会委員の委嘱について

第3 臨時代理

報告第5号 平成25年度船橋市一般会計決算（教育に関する事務に係る部分）について

報告第6号 職員の任免について

第4 報告事項

- (1) 平成26年度全国学力・学習状況調査について
- (2) 第34回船橋市中学校英語発表会の結果について
- (3) 平成26年度船橋市小・中学校音楽発表会（第36回サマーコンサート）実施報告について
- (4) 平成26年度音楽コンクールの結果について
- (5) 平成26年度船橋市中学校演劇部夏の発表会の結果について
- (6) 第50回船橋市中学校総合体育大会駅伝の部について
- (7) 平成26年度夏期研修講座について
- (8) 平成26年度第3回算数・数学チャレンジふなばしについて
- (9) 図書館サービス拠点の拡充について
- (10) 第37回船橋市いけばな展について
- (11) 第52回船橋市美術展覧会「市展」について
- (12) 第6回船橋市所蔵作品展について
- (13) 第1回ふなばしミュージックストリートについて
- (14) 平成26年度学校プール開放事業の実施報告について
- (15) スポーツの祭典について
- (16) その他

第5 委員長選挙及び委員長職務代理者の指定

6. 議事の内容

【委員長】

ただいまから、教育委員会会議9月定例会を開会いたします。

初めに、会議録の承認についてお諮りします。

8月18日に開催しました教育委員会会議8月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思います。

ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

今回の教育委員会会議 9 月定例会の開催に当たりまして、会議を傍聴したい旨 1 名より申し出がありました。傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入場)

【委員長】

傍聴人にお願いがございます。お渡しいたしました傍聴券の裏面に記載されております傍聴人の遵守事項について、よく守っていただき傍聴されるようお願いいたします。

議事に入る前に、先ほど事務局から教育長の臨時代理に伴い、「職員の任免について」を本日追加して報告したい旨、提出がありました。本日の議事日程において、日程第 3 の臨時代理の報告第 6 号として報告第 5 号の後ろに追加したいと思いますが、ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、そのようにいたします。

それでは、議事に入りますが、議案第 5 2 号、議案第 5 3 号及び委員長選挙及び委員長職務代理者の指定については、船橋市教育委員会会議規則第 1 4 条第 1 項第 1 号に該当し、報告第 5 号については同規則第 1 4 条第 1 項第 4 号に該当しますので、非公開としたいと思います。

当該議案等については、傍聴人に退席願いますことから、同規則第 9 条に基づき、議事日程の順序を変更し、報告事項（1 6）の後に繰り下げたいと思います。

さらに、議案第 5 2 号及び委員長選挙及び委員長職務代理者の指定については、関係職員以外退席願いますことから、報告第 5 号の後に繰り下げたいと思います。

ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、そのようにいたします。

それでは、初めに、臨時代理による報告第6号について、教育総務課、報告をお願いいたします。

【教育総務課長】

報告第6号「職員の任免について」、ご報告いたします。別冊3として追加でお配りしておりますので、そちらをご覧ください。

主幹以上の事務局職員及び教育機関の長の任命に当たっては、教育委員会会議において議決を得るものですが、会議日程等の関係で会議を招集する暇がございませんでしたので、船橋市教育委員会組織規則第3条の2第1項の規定により、臨時代理を行ったものでございます。

まず1としまして、平成26年10月1日付で市長事務部局等へ出向する職員でございます。私、二通健司管理部参事（教育総務課長事務取扱）が出向となります。

次に、2としまして、同日付で昇任する職員でございます。教育総務課長補佐の度会益己が教育総務課長へ昇任となります。

以上でございます。

【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

特にございませんか。

【各委員】

ありません。

【委員長】

続きまして、報告事項（1）から報告事項（5）までについて、指導課、ご報告をお願いいたします。

【指導課長】

それでは、指導課からよろしく願いいたします。

まず最初に、本冊1ページをご覧ください。平成26年度「全国学力・学習状況調査について」、ご説明させていただきます。

本年4月22日に国の調査といたしまして、全ての小中学校で実施いたしました。調査の対象は小学校6年生と中学校3年生でございます。調査の内容につきましては、記

載のとおりでございますので、よろしくお願ひいたします。各学校へは8月25日に各学校の結果が送られております。

本市の結果についてでございますが、各教科ともおおむね良好でございます。特に小学校では国語の知識に関するA問題、算数の活用に関するB問題、中学校では国語、数学ともに活用に関するB問題がよい結果となっております。

生活習慣や学校環境に関する調査でございますが、昨年と同様、読書が好きな児童・生徒の割合が高くなってございます。特に中学生に多くなっております。

それから、若干課題があるなという部分ですが、地域の行事に参加している児童・生徒の割合が若干低くなってございまして、地域とのかかわりというようなことでは課題があるのかというふうを考えております。

なお、留意事項に記載してございますが、本調査の結果の公表につきまして、学校の序列化や過度の競争につながらないようにということで、平均正答率の数値や学校の順位については公表しないこととしております。

続きまして、英語発表会でございます。3ページをご覧ください。大変恐縮ですが、1枚追加の資料を用意させていただいております。概要についてお示したものでございます。

8月26日（火）に開催されました船橋市中学校英語発表会の結果でございます。本年度で第34回ということで、大変歴史がございます。市内の中学校27校の代表130名が暗唱の部、スピーチの部、模範演技といたしまして、帰国生徒の部に分かれて参加し、日ごろの指導の成果、学習の成果を発表いたしました。

スピーチの部の優勝者伊藤さんと各学年の暗唱の部の優勝者原田さん、石井さん、柴田さんは、本市の代表といたしまして、10月10日（金）に千葉県文化会館で開催されます千葉県中学校英語発表会に出場いたします。

スピーチの部の優勝の船橋中学校、伊藤 宝さんですが、昨年度は県の発表会で暗唱の部に出場し、第2位という好成績をおさめておりますので、今年も活躍を大変期待しているところでございます。また、この発表会におきまして、市立船橋高等学校の留学教育コースの3年生の高橋珠愛さんが模範スピーチをしてくださいました。高校での学校生活の様子を非常にわかりやすく、流暢な英語で明るく話してございまして、非常に好評を得ているところでございます。

続きまして、5ページをご覧ください。平成26年度船橋市小・中音楽発表会、いわゆるサマーコンサート、36回目を迎えます。これは7月に開催されましたが、夏休みに入ると同時に開催しているところでございます。これにつきましては、賞はございませんが、新しい学年になって学校で練習を積んできた成果を初めて他校や保護者の皆さん、地域の方に聞いてもらう機会となっております。

演奏後には講師の先生方から具体的なアドバイスを各校いただきまして、次の演奏会につなげるということで、子供たちにとっては非常にいい機会となっております。

めて大勢の前で演奏いたしますので、子供たちは非常に緊張感を持って演奏をしたところでございます。

続きまして、同じ音楽関係でございますが、7ページをご覧ください。音楽につきましては、先はまだ12月までいろいろ大会がございますが、現在のところまでのご報告をさせていただきたいと思っております。

まず、1番のギターコンクールでございますが、船橋でギター部があるのは中学校2校でございます。八木が谷中学校と前原中学校です。ギターとマンドリンの合奏、それからギターの重奏、合奏ということになります。これにつきましては資料に記載されているとおりでございますが、東京本選で9月23日に行われまして、八木が谷中学校が特別金賞ということで賞をいただいております。

次に、2番目のNHK全国学校合唱コンクールでございますが、千葉県の代表といたしまして、薬田台南小学校が9月7日に関東甲信越大会に出場いたしました。結果は奨励賞ということでございます。小学校の合唱部門におきましては、県代表の中に毎回本市の学校が入ります。4回連続ということでございますが、とても素晴らしいことございまして、船橋市の小学校における合唱のレベルの高さがうかがえるところでございます。

3番目に、吹奏楽コンクールでございます。吹奏楽コンクールは、部門によりまして全国大会に進める部門や東日本大会まで、また県大会で終わるものなど多岐にわたってございます。A部門は全国大会に通じてございます。B部門は東日本大会が最終のコンクールとなります。9月14日に高根東小学校と海神南小学校が東関東コンクールに出場いたしました。小学校の部門は東日本大会で終了となります。その結果、高根東小学校は金賞、海神南小学校は銀賞でございました。高根東小学校は3年連続県の代表となっております。東関東大会に出場いたしました。残念ながら、この後の東日本大会の進出にはなりませんでしたが、大変素晴らしいできだったということ聞いております。

また、今月の6日、7日に行われました東関東コンクールでは、市立船橋高等学校が金賞を受賞いたしました。海神中学校も金賞を受賞しております。これも金賞でも全国大会に進めるチームと進めない学校がございまして、残念ながら全国大会には進めませんでした。

4番目、マーチングコンテストの結果でございます。法田中学校が金賞、理事長賞、それから市立船橋高等学校も金賞という素晴らしい結果で、東関東のマーチングコンテストに進むことになりました。この両校につきましては、全国大会への出場ということも期待されてございます。

終わりに、TBSのこども音楽コンクールでございますが、地区大会の優勝校の中から部門ごとに推薦された学校が東日本優秀演奏発表会へ進出いたします。現在、東日本に進んでいる学校が小学校5校、中学校7校、非常に健闘しているところでございます。また、全国学校合奏コンクールが10月に行われます。これはまた後日ご報告をさせて

いただきたいと思います。

続きまして、9ページの演劇でございます。平成26年度船橋市中学校演劇部夏の発表会が8月7日、8日の両日、船橋市民文化ホールで開催されました。その結果、船橋中学校、葛飾中学校、前原中学校の3校が優秀校に選ばれまして、9日、次の日に開催された千葉市・船橋市中学校演劇部優秀校発表会に参加いたしました。そこで最優秀校になりましたのが葛飾中学校でございます。葛飾中学校は12月13日、14日に沖縄で開催されます第14回全国中学校総合文化祭沖縄大会に千葉県代表として参加いたします。

指導課からは以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、今の(1)から(5)までについて、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【鎌田委員】

学力・学習状況調査についてお尋ねしますけれども、おおむね良好であるとか、少し割合が低いとかという数字は、全国平均と比べてとか、全県平均と比べてとか、比べる対象はどこなのでしょう。

【指導課長】

全国の平均正答率と比べてということで、全国と比較してございます。

【鎌田委員】

もう一つ、調査結果の活用のところで、「自校の学力・学習状況を分析する」とあるのですが、この自校の学力・学習状況の場合は、前年度というか過年度の数値との比較というのは自校についてはできるものなのでしょうか。

【指導課長】

船橋市の場合は抽出している時代からずっと希望をしております、全校調査をしてございます。各学校、過去の記録を持ってございますので、そういった分析をすることはできます。

それから、教育委員会のほうから細かな分析、市の分析をしまして、各学校に配付いたしますので、それと比べていただいて、今後の教育活動に生かしていただくということにさせていただきます。

【委員長】

ありがとうございます。

そのほか、何かございませんか。

【石坂委員長職務代理】

中学校英語発表会ですけれども、この年代の子たちは、船橋市の英語の授業は小学校からやってこられた方だと思います。34回という歴史がありますけれども、レベルというか、やはり成果というのは見られるものでしょうか。

【指導課長】

講評をしてくださる講師の先生なのですが、何年かにわたってやっていただいています。昨年度までもかなりよかったということなのですが、今年は特に非常に大きくレベルアップしたというようなことで講評をいただきまして、それが小学校1年生からの積み上げということで、我々はそう考えているところなのですが、さらにいい結果を残せるように、学習なり、スピーチになりますとかなり練習も必要ですが、そういう機会をつくれるように進めてまいりたいと考えております。

【石坂委員長職務代理】

具体的に何か一つ、そのレベルアップの内容を何かご存じですか。

【指導課長】

去年、久しぶりに県大会に出場して、いい成績をおさめられた。これからまた県大会がございますので、その中でどういう活躍ができるかということが一つの指標になるかなと思っているところでございます。

【委員長】

よろしいですか。

そのほか何か。

【篠田委員】

報告事項の(1)の「本市の調査結果の概要」のところ、5番ですね。(4)小学校で「家庭において授業の復習をする」、小・中学校で「地域の行事に参加している」割合が少ないということで、特に中学校はなかなか難しいと思うのですが、やはり小学校で地域の行事に参加するというのは大事なことなのではないかと思います。自分がふだん生活している根っここといいますか、ただ生活しているだけではなくて、自分たちが生活している周りの地域というものに関心を持つことは大切なことだと思いますので、その辺

もまた、地域の行事に参加する割合が低いのであれば、高めていていただきたいと思います。

【指導課長】

地域の方といろいろ交流をするということが非常に子供たちにとっても有益になると考えておまして、各学校に、地域の方とそういう行事、例えばお祭りの企画なども児童・生徒と一緒に参加してもらったらどうでしょうかというようなこともお話し申し上げているのですが、積極的に参加できるように投げかけていきたいと思っております。

【委員長】

ありがとうございます。

私からも二、三お聞きしたいのですが、調査の結果で、今、鎌田委員もご質問になったのですが、千葉県の中では船橋市はいかがなんでしょうか。

【指導課長】

千葉県の中でもおおむね良好ということでございます。

【委員長】

そうですね。それから、授業の復習をするのが少ない、地域の行事に参加するのが少ない、国語が好き、読書が好きとか、それと点数との相関というか、そこら辺も出さないとちょっと……、その結果はどうですか。そういう相関は何かございますか。

【指導課長】

細かな分析は現在しているところでございます。これがまた非常に重要なことかなと考えています。実は、読書が好きだからそれがそのまま成績に結びついているかということについては、そのまま言えるものではないかなと思っておりますが、逆は、成績のいい子は本が好きだなということは、ある程度関連性があるのかなと思っております。ただ、分析がまだきちっとできていませんので、またどこかの場でご報告申し上げたいなと思っております。

【委員長】

家庭に情報提供というのは、どこら辺までする予定ですか。

【指導課長】

各学校には個票が返ります。それは子供の点数とか、どういうところがよかったとか悪かったとかというようなことで返りますので、それをもちまして各個人には返ります。

それから、学校の状況です。もちろん平均正答率は示さないのですが、学校として全体としてこういう傾向にあったということは分析いたしまして、例えば家庭でこういう生活について見直してもらいたいとか、それから学習状況では家庭学習も頑張ってもらいたいとか、学校では例えば基礎的なものをしっかりこれからやっていくことにしますとか、そういう情報を提供いたしまして、家庭と学校が一緒になってサポートできるように、子供を育てられるようにということで、情報分析をして家庭に示すということにしております。

【委員長】

各論というか総論的なものを各家庭に示すということですか。

【指導課長】

総論も出すのですが、個別には個人的な点数だとか分析の個票が返るんです。ペーパーになって返ります。それで、多くの学校ではその個票を使いながらこういう学習をしたらいいのではないかなというようなことは、子供たちと話をしたり、面談でそれを使ったりというようなことで、各児童・生徒に返すというようなことをしているということにしております。

【委員長】

あと、これは感想ですけども、留意事項で「序列化や過度の競争につながらないよう十分配慮する」という文章があります。今、マスコミや何かも序列化どうこうとか、静岡県の知事がどうこうしたとか、いろいろありますけれども、何となく萎縮した文章なので、これは「十分配慮する」ではなくて、「過度な競争につながらないような配慮が必要である」とか、それぐらいにさらっと置いておいたほうが私はいいと思うんですけどね。「十分配慮する」というと、こればかり気にしているような気がして、ちょっと文章的に、私は前も同じ感想を持ったのですけれども、今回も同じ感想を持ちました。これは私の感想ですので、お答えは結構ですけども。

そのほか何かございますか。

続きまして、報告事項（6）について、保健体育課、報告をお願いいたします。

【保健体育課長】

それでは、第50回船橋市中学校総合体育大会、駅伝の部についてご説明いたします。資料11ページをご覧ください。

この大会は、今年7月19日から行われました市の中学校総合体育大会の最後の種目となります駅伝の部として行われる大会でございます。10月11日（土）、荒天の場合は翌12日に行う予定でございます。

開会式は8時40分より。まず女子の部の出発が9時20分、男子の部は10時半からの出発となります。

会場及びコースは20ページ以降に記載されております。船橋運動公園陸上競技場及び公園内周回コースを使用します。男子6区間18.5キロ、女子は5区間11.9キロです。

多くの学校が選抜選手を中心にこの大会に臨んでおります。大会実施要項をお手元に準備いたしましたので、どうぞ応援よろしくお願いたします。

男子は上位3校、女子は4校が市の代表として県大会に出場いたします。県大会は1月16日、県立柏の葉公園総合競技場です。

なお、昨年度は海神中学校の女子が5位に入賞いたしました。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

続きまして、報告事項(7)から報告事項(8)について、総合教育センター、報告をお願いいたします。

【総合教育センター所長】

資料のほうでございますが、本冊31ページ、報告事項(7)でございます。平成26年度夏季休業中の研修の実施報告でございます。この表の中身は、希望研修の内容でございます。希望研修としては43講座を実施し、受講人数は延べ1,482名ございました。

今年度は特に希望研修の新規講座として特別支援教育関係のティーチャーズトレーニング①、②を開設し、1講座を2日間かけて、支援の必要な児童の理解と具体的な対応の仕方について研修を行いました。各種の研修の様子につきましては、別紙の資料でございます、私ども総合教育センターの研修班が出しておる「研究・研修班だより」、こちらのほうをご参照いただきたいと思います。

また、夏季休業中の悉皆研修は延べ30講座を開催し、延べ2,462名の受講がございました。現在、アンケートの集計を行い、その反省をもとに、来年の研修のあり方について検討してまいります。

続きまして、資料33ページ、報告事項(8)の平成26年度第3回算数・数学チャレンジふなばしについて、ご説明いたします。本事業は算数・数学が大好きな子供たちをたくさん育てて、考える力や表現する力を伸ばす、これを目的としております。本年度で3回目を迎えました。今年は全小中学校から応募がございました。中には校内選考

も行った学校もございます。

8月2日に総合教育センターを会場としてファーストチャレンジに参加した子供たちは、小学校6年生182名、中学校3年生94名の計276名でございました。審査員としましては、市内小中学校の算数・数学に造詣の深い先生方10名が採点及び厳正なる審査を行い、ファイナルチャレンジに進出する児童・生徒58名を選びました。

ファイナルチャレンジは8月23日に行われました。まず全員が筆答の審査、これに臨んだ後、審査員が採点して、小学校の部は7名、中学校の部では10名の成績上位者を選出しました。ここで問題の解き方について審査員の前で実物投影機を使って17名の生徒がプレゼンという形で発表し、その内容の評価を行い、各賞を決めました。

審査結果は資料のとおりでございます。今回のチャレンジを実施して、子供たちから、「難しい問題にチャレンジできて楽しかった」との声ももらいました。

なお、表彰式は11月1日の教育フェスティバルで行います。

以上、総合教育センターの報告事項でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【石坂委員長職務代理】

研修のほうですけれども、日数は1日のものがほとんどですけれども、1日というのは何時間ぐらい見ているのでしょうか。

【総合教育センター所長】

1講座の時間としては、午前、午後に分けておりますので、90分ぐらいのものから、本当に半日のもの、または1日を通じたのものというような講座、それぞれでございます。

【石坂委員長職務代理】

わかりました。

この希望研修のほうですけれども、去年と比べて結構減っているんですかね。何か去年と比べて工夫された点があったら教えてください。新規講座のこと、先ほど伺いました件とか。

【総合教育センター所長】

前年度に比べまして3講座減少しておりますが、ここは実は中学校向けの国語と数学の講座を、スキルアップの小中の基礎講座で行っていたものを中学校に特化させたとい

う形になっております。これが2講座でございます。

それから、再編成を行いましたところで、情報教育のほうの57番「ワードの基礎から応用まで」は、ICT活用の中学校向けだった部分ですけれども、これを再編成したということで、3つの減でございます。ただ、これはそれぞれ特徴をつかんだ講座にしようということで、昨年の反省に基づいて再編をいたしました。

新規講座としては、先ほど申し上げた特別支援教育の関係のティーチャーズトレーニング、これは1日とか半日の単位ではなくて、2日間、NPO法人の発達支援関係のほうの講師の方で充実した2日間で講座を行って、今回、1つの新規事業となったというところでございます。

【委員長】

ありがとうございました。よろしいですか。

【鎌田委員】

2点お尋ねしたいのですけれども、希望研修、大変いろいろなメニューがあって素晴らしいと思います。これだけありますと、例えば①の教科等に関するもの、②、⑤なんというのは教科に関するとか全体的なことにかかわると思うのですが、日にちが重なって、受けたいんだけど受けられないというような状況はないのですか、ということが1つ。

これだけ希望研修で1,480数名の方が参加されて素晴らしいと思いますが、分布として、複数選べるとすると、同じ方が幾つも選んで延べ人数がふえているケースと、比較的いろいろな先生がご参加いただいて平均的に分布しているという、2つ側面があると思うのですが、その2点、いかがでしょうか。

【総合教育センター所長】

まず1日の部分で、どうしても重なるというのは会場のキャパシティの問題で発生いたしますが、この部分を、各小学校を会場にしたり、総合教育センター外の施設等を利用する、そのようなことで解消しながら、その重なりをなるべく避けるようにしております。ただ、どうしてもキャパシティはございますので、そういう状況はあるかと思っております。

それから、1人の方がかなり多くの講座でということで、広がりがないところではどうかとの点でございますけれども、これにつきましては、毎年、各講座の意見集約をしており、多くの方に幅広くご利用いただける研修というような形で講座をまた考えてみたり、それから、先ほどの講座の分け方みたいなものを工夫したりということで対応しております。

【委員長】

よろしいですか。

ほかに何か。

それでは、続きまして報告事項（9）について、中央図書館、報告をお願いいたします。

【中央図書館長補佐】

それでは、報告事項第9、図書館サービス拠点の拡充についてご説明させていただきます。ページ数は35ページ、36ページとなります。

平成25年1月に施行された船橋市図書館サービス推進計画の中で、平成26年度事業といたしまして、ネットワーク化の推進が挙げられております。来月10月15日（水）より、ネットワーク公民館図書室の拡充、図書貸出返却窓口の新設、船橋FACEビルに返却拠点を設置という幾つか新しいサービスが開始されます。

36ページの表をご覧ください。まず初めに、ネットワーク公民館図書室の拡充といたしまして、新高根公民館、西部公民館、三山市民センター内の図書室を改修し、これまでの公民館図書室同様、オンラインで図書館システムにつなげ、新たな公民館等図書室として新設いたします。

また、東部公民館と夏見公民館につきましては、以前より市民からの図書館サービス拠点設置要望が強く、拠点の整備について検討いたしました。施設の形状から蔵書を持つことが難しいことから、予約された図書の受け渡しや図書の返却受付を行う図書貸出返却窓口として設置いたします。これらのサービスを実施することにより、市が所蔵する146万冊の中から希望の図書の検索や貸出返却等、図書館と同様のサービスの提供が可能となります。

また、新設する5カ所のサービス拠点には、図書返却ポストを設置し、公民館等の休館日や早朝・夜間などの返却を可能といたします。

なお、これに伴い、開館時間が変更される公民館図書室といたしまして、これまで開始時間が午後1時から午後4時30分までであった小室、丸山、塚田の各公民館施設につきましても、午前10時30分からの開始とし、全ての公民館等で開始時間が統一されることとなります。

次に、船橋FACEビル2階の返却拠点につきましては、新たに船橋駅前の船橋FACEビル2階の自由通路に返却拠点を設置し、NPO法人情報ステーションに返却図書の受取業務を委託し、朝6時から深夜0時までの図書の返却を可能とするものです。

なお、三山市民センターと船橋FACEビルの利用者につきましては、施設の業務時間内での利用となることを申し添えます。

以上のことから、船橋の図書館網は、図書館が4館、三山市民センター図書室を含むネットワーク公民館等図書室が11室、図書貸出返却窓口が2カ所、そのほかに船橋F

A C Eビルの返却拠点が1カ所となります。

以上が今回の図書館サービスの変更点であります。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【鎌田委員】

F A C Eビルの2階に返却拠点を付設、大変いいことだと思うのですが、情報ステーションさんは、ちょっと記憶違いかもしれませんが、市民図書館というような市民レベルで大変熱心に活動されていると思うのです。そういう市民図書館みたいなどころとあわせてポストを置くというようなイメージですか。それとも、無人のポストになって、その回収等を委託するという事なのでしょうか。

【中央図書館長補佐】

返却ポストと言わなかったのは、N P Oの現在使用している貸出返却のカウンターの、そこを改修しまして、そこに図書館用の返却口を設置します。市民図書館の本も図書館の本も一緒にその返却口から返していただくということになっております。

【委員長】

ありがとうございました。よろしいですか。

そのほか何かご意見は。

続きまして、報告事項（10）から報告事項（13）までについて、文化課、報告をお願いいたします。

【文化課長】

資料のほうは、本冊37ページ報告事項（10）から、43ページ（13）になります。文化課事業4項目について報告をさせていただきます。芸術の秋を迎えることから、各文化芸術団体や関係団体のご協力を得まして、資料のとおり各イベントを開催いたします。

まず37ページですが、あす9月30日から10月5日まで市民ギャラリーのほうでいけばな展を皮切りに、10月7日の所蔵作品展、ただいま市展の作品の募集を開始しており、また、今年初めて実施する船橋ミュージックストリートと、事業が続いてまいります。

そんな中、本冊41ページの10月7日から始まる所蔵作品展、木村伊兵衛展ですが、こちら、木村伊兵衛さんは日本を代表する世界的な写真家でありまして、日常を切り取

る何気ないカットのすばらしさが特徴と言われております。今回の所蔵展につきましては、監修をお願いいたしました市内在住の北井一夫さん、第1回目の木村伊兵衛賞を受賞した市内在住の写真家の方でございます。個人的にも懇意にしておられたと伺っております。その北井さんが監修をされます。40点の作品を市としては所蔵しております。今回、一応40点を予定しております。当日のレイアウトで多少点数が減ってしまうかもしれませんが、市にとっても貴重な美術品となる写真を展示いたしますので、ぜひこの機会にご覧いただきたいと思っております。

次に、43ページ、10月26日ですが、いよいよ第1回の船橋ミュージックストリート、委員の皆様のお手元のほうにはチラシを置かせていただいておりますので、ご覧いただきたいと思っております。残り1カ月となりました。9月14日には出演団体109団体を集めての説明会を実施し、今後は10月18日にボランティアの希望者を集めて説明会を実施するなど、市民ボランティアの委員さんを中心に着々と準備を進めております。

メイン会場のゲストは、若松小学校・中学校、市船卒業のタダシンヤさんをお迎えします。ぜひ委員の皆様におかれましても当日会場に足をお運びいただければと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上で文化課からの報告を終了いたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【篠田委員】

船橋ミュージックストリートは初めてのことなので、多分、準備が大変なのではないかと思っております。出演者の募集とか、いろいろな私も聞いていますけれども、知り合いにも声をかけますので、ぜひ成功するようにお祈りしています。

また、当日、多分三番瀬のクリーンアップ作戦もあるんですよ。いろいろな行事と重なっている中だと思うのですけれども、町が賑やかになることはいいことだと思いますので、大変でしょうけれども、ぜひ頑張ってくださいと思います。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。

そのほか何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは、続きまして報告事項(14)から(15)まで、生涯スポーツ課、報告をお願いいたします。

【生涯スポーツ課長補佐】

まず初めに、報告事項（14）、平成26年度学校プール開放事業の実施報告についてでございます。本冊の45ページ、46ページをご覧ください。

学校体育施設開放事業といたしまして、小学生以上の個人を対象に8月11日から8月15日までの前期、8月18日から8月22日までの中期、8月25日から8月29日までの後期に分けまして、小学校22校、特別支援学校2校の合計24校のプールで実施いたしました。利用者数は7,605人。事故もなく無事に終了することができました。

利用状況の詳細につきましては、資料のほうをご覧ください。また、プール開放に合わせまして、市民スポーツ教室の事業といたしまして、市内在住、在学の泳げない小学生を対象に、ちびっこスイミング教室を小室小学校、高郷小学校、大穴小学校の3校の会場で実施をいたしまして、延べ281名の小学生の参加がありました。参加されたご父兄の方からはお礼の連絡もいただいております。

続きまして、報告事項（15）、2014スポーツの祭典についてでございます。47ページをご覧ください。

スポーツを通して地域住民の健康増進、また体力づくりなどを図る目的で、船橋市スポーツ推進委員協議会、船橋市スポーツと健康を推進する会で組織する2014スポーツの祭典実行委員会が主催します2014スポーツの祭典を10月5日（日）に運動公園で開催いたします。陸上競技場をメイン会場といたしまして、体育館、野球場、テニス場などで「ワイワイまつり」といたしまして各種の催し物を行います。

また、「市民一斉歩こうDay」ということで、ウォーキングを同じく10月5日に市内2駅、JR船橋駅と新京成の二和向台駅でございますが、そこから運動公園を目指し、午前10時に一斉スタートいたします。また、ウォークラリーはJR船橋駅で9時から受付を始めまして、運動公園を目指し、随時スタートすることになっております。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

1つ、プール開放のほうですが、参加人数が今年度が7,600で昨年度が1万4,000、半減しているようなのですが、これは何か理由がございますか。

【生涯スポーツ課長補佐】

今回は8月7日まで、高校総体のバスケットボールが行われておりました。生涯スポーツ課は通常はプール開放のときに何度か現場を見て、どういう実施状況かを確認して

いるのですが、高校総体のために職員がそちらのほうに取られてしまいまして、1週間開催がずれてしまいました。その関係で、生徒の数が少なくなってしまうっております。

【委員長】

そうすると、来年度以降は日程をまたもとに戻すということですか。

【生涯スポーツ課長補佐】

来年度以降は通常の日程に戻りますので、通常どおりの人数になるだろうと思います。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか何かございますか。よろしいですか。

続きまして、報告事項(16)、その他で何か報告したい事項などがある方がいらっしゃいましたら、ここでご報告をお願いします。

教育総務課長、お願いします。

【教育総務課長】

来月の10月15日をもって任期が満了する篠田委員の後任として、佐藤秀樹氏を市長が任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求める議案が去る8月26日、市議会第3回定例会の開会日に上程されました。このことについて、9月26日、市議会最終日、本会議において起立採決を行ったところ、総員起立により市議会の同意が得られましたので、ご報告いたします。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

そうすると、10月16日から佐藤さんが新たになられるということですか。

【教育総務課長】

篠田委員の任期満了を引き継ぐ形で、今の予定ですと10月16日に市長より辞令交付を行う予定であります。

【委員長】

そのほか何か。

それでは、先ほど非公開と決しました議案の審議及び委員長選挙及び委員長職務代理

者の指定に移りますので、傍聴人は退席をお願いします。

(傍聴人退席)

【委員長】

それでは、議案第53号について、青少年センター、説明をお願いいたします。

議案第53号「船橋市青少年センター運営協議会委員の委嘱について」は、青少年センター所長から説明後審議に入り、全員異議なく可決された。

【委員長】

続きまして、臨時代理による報告第5号に入ります。財務課、報告をお願いします。

報告第5号「平成25年度船橋市一般会計決算（教育に関する事務に係る部分）について」は、財務課長から報告された。

【委員長】

続きまして、議案第52号の審議に入りますので、関係職員以外の方は退席をお願いいたします。

(関係職員以外 退席)

【委員長】

それでは議案第52号について、教育総務課、説明をお願いいたします。

議案第52号「平成26年度船橋市教育功労表彰について」は、教育総務課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

続きまして、委員長選挙及び委員長職務代理者の指定に入りますので、関係職員以外の方は退席をお願いいたします。

(関係職員以外 退席)

【委員長】

それでは、委員長選挙及び委員長職務代理者の指定を行います。

初めに、この件に関しまして、教育総務課、説明をお願いいたします。

委員長選挙及び委員長職務代理者の指定が行われ、委員長に山本雅章委員が、委員長職務代理者に鎌田元弘委員がそれぞれ決定した。

【委員長】

それでは、職員を入場させてください。

(職員入場)

【委員長】

ただいま教育委員会の委員長の選挙及び職務代理者の指定を行いました。

次期委員長には私が留任し、次期委員長職務代理者には鎌田委員が決定いたしましたので、ご報告いたします。

それでは、私から留任の挨拶をさせていただきます。

ただいま、もう1年委員長というふうに推選いただきまして、もう1年委員長をやらせていただきます。よろしく願いいたします。(拍手)

続いて、次期委員長職務代理者の鎌田委員からご挨拶をお願いいたします。

【鎌田委員】

私、教育委員になってほぼ1年弱というところですが、委員長を支えて職務代理者としてしっかりやってまいりたいと思います。よろしく願いいたします。(拍手)

【委員長】

ここでご報告させていただきます。

平成18年10月16日から2期にわたり教育委員会委員として務めてこられました篠田委員が、任期満了により10月15日をもちまして退任されることとなります。この9月定例会が篠田委員が出席される最後の定例会となります。

篠田委員にご挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【篠田委員】

皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。今、委員長からもお話がありましたが、平成18年の10月からということで、8年間、長いようであつという間だったような気がいたします。

私、ご存じのように仕事として商店を経営しています。その観点から幾らかでもというつもりでこの教育委員会に参加させていただきました。なかなか、自分で役に立った

のかなというふうに思っています。逆に私のほうがたくさん皆様方から教えていただいたような気がいたします。これからまた教育委員の職は10月15日まで、気を緩めないうで任期まではきちんと全うしてまいりたいと思いますけれども、その後は自分の本業のほうに専念しないと、こういう厳しい時代でございますので、この教育委員会でいろいろ皆様方からお世話になったり教えていただいたことを、実際今度、自分の仕事のほうにまた生かしていきたいと思っております。

本当に8年間、お世話になりました。また勉強させていただきました。教育委員の職を辞しましてもよろしく申し上げます。どうもありがとうございました。(拍手)

【委員長】

篠田委員におかれましては、本当に長い間お疲れさまでございました。ありがとうございました。

本日予定していました議案等の審議は終了いたしました。

これで教育委員会会議9月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後3時22分閉会